

思春期のころとからだプログラム

『思春期のころとからだプログラム』は、福岡県の「にじいろCAP」さんが開発した「さくらんぼプログラム」をベースにアレンジを重ね、現在沖縄県内の中学校を中心に講話を行っています。今年度は、保護者や関心のある地域の方など、おとなを対象とした講話を那覇市と八重瀬町で開催しました。

おとな向け思春期プログラム

講座名：子どもと話そう思春期の恋愛 ～デート DV 予防のための CAP プログラム～

講師：奥間 智香枝・井形 陽子

開催日：8月4日（土） 14：00～16：00

内容：

思春期ってなんだろう？

- ・『CAP 思春期の心と体プログラム』紹介
- ・放課後タイムの子どもたちの声
大切な子どもたちを守るために…
- ・暴力から子どもを守るために～CAP式～
思春期の恋愛について
- ・男らしさ、女らしさ・性の多様性
- ・体のこと、性のこと、恋愛のこと
デートDVを防ぐためにできること



ロールプレイ（彼氏役）として、職員の方にもご協力いただきました。

『なは女性センターだより』（2018年8月15日発行・第269号）「講座を終えて」にて、講座担当者の感想を掲載していただきました。

那覇市の全中学1年生を対象におこなっている意識啓発事業「思春期の心と体プログラム～じぶんと誰かのいろんな関係～」(おきなわCAPセンターに委託)が、どのように子どもたちへ伝えられているか、またそのプログラムを受けての反応や、放課後に行われるトークタイムで子どもたちが話してくれたことなどが紹介されました。思春期の子が心の内にある不安や心配ごとを、話してみようと思える大人であるために、まずは子どもの話を否定せずにきちんと“聴く”ことが大切だと話されていました。子どもが、親しい人との関係の中で悩んだときに、自分の率直な気持ちに気づき、「いや」と思うことを相手にきちんと伝えることができれば、子ども自身が自分を尊重し、相手も尊重できる対等な関係を築いていけるようになり、デートDVの予防にもつながるということがわかりました。最近では、LINEなど、SNSを使っただけの監視や行動を制限したりする行為なども増え、二人だけの関係が深刻なデートDVになってしまうこともあるため、周囲の大人の見守りも必要です。そして、子どもたちへ正しい情報を伝えるためにも、ジェンダーや性についての刷り込みや思い込みがないよう、大人も意識を高めていくことが大事だと学びました。思春期の子を持つ保護者、学校関係の参加者から、「もっと多くの子どもたちが、このプログラムを受けられたらいいですね」と多数のメッセージが寄せられました。

H30 八重瀬町中央公民館講座

子どもと話そう 思春期の恋愛

～デートDV予防のためのプログラム～

10代から20代の前半まで続く「思春期」は、心と体に最も大きな変化が訪れる時期です。体の変化につれて気持ちも不安定になりがちですが、思春期の子どもたちの多くは、自分自身の変化に気づきにくいのです。

思春期は思春期だからこそ、自分の心と体に起きていることへの知識は安心につながります。難しい話かとの尊重し合える人間関係づくりについて考えたいことは、問題を解決する能力を育てます。

そのためには、思春期の子どもをサポートする、子どもにとって信頼できおこなう大人が大切です。自分自身の思春期を思い出し、子どもとの相談相手になる準備として、一緒に学んでみませんか。

日 時：11月28日（水）午後7時～9時
 会 場：八重瀬町中央公民館 2階ホール
 講 師：奥間智香枝・井形陽子（NPO法人おきなわCAPセンター）
 対象者：保護者・家族・生徒会役員・生徒会幹事 子どもに関わる方
 定 員：50人（団体での申し込みも大歓迎）

【お問い合わせ講座のお申込み】
 八重瀬町中央公民館
 TEL. 098-998-8383 FAX. 098-998-4254

●おきなわCAPセンターとは…
 1994年に事業開始の団体です。中心とした活動はホームステイ、子どもがいじめ、虐待・虐待・被害者いじめなどさまざまな暴力に悩んでいる子ども、保護者・教員・地域の人々に伝わる教育プログラムを実施しています。子どもは人間関係について伝え、暴力的な方法を教え、相談する大切さを共に学ぶワークショップ形式で、CAPプログラムに取り組んでいます。
 CAPは、Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の略です。

【思春期の心と体プログラム】は、10代の子どものための「デートDV予防」を通じて人間関係づくりに考えるプログラムです。子どもたちの発達段階、相談相手となる大人との関係性（「友」関係）「恋愛関係」「親子関係」「人間関係」などさまざまな人間関係の問題について気づきや学びを持ってもらうように行われています。

主催：八重瀬町教育委員会 共催：NPO法人おきなわCAPセンター

11月28日（水）19：00～21：00
 八重瀬町中央公民館では、平日夜間の開催でしたが、多くの方に会場にお越しいただきました。（主催：八重瀬町中央公民館）

子ども向け思春期プログラム

2018年度思春期プログラムを実施した学校、施設(予定も含む)

- ・那覇市立中学校全17校・宜野湾市立中学校全4校・北中城中学校(1年・2年)
- ・うるま市立中学校6校・浦添市立中学校全5校・児童養護施設2か所

タイトル: 「じぶん」と誰かのいろいろな関係 (パワーポイント所要時間 約60分)

内容

- 誰にでもある「思春期」について
- さまざまな人間関係の中にある自分を考える
- 思春期の「特別な関係」を安心・安全にするためのヒント
- 自分の気持ちを率直に表現する、伝える方法・心の応急手当
- 信頼できる人に相談する、助けてもらう
- DV・デートDVとは

☆実施の目的☆

- ①「思春期」という10代の発達段階の大切な時期に必要な情報と正しい知識を提供
- ②非暴力の安全な人間関係を築くためのサポート
- ③困った時、悩んだ時にどうすればよいか、必要な選択肢を増やすこと



学校の先生が作ってくださったポスター

講話終了後には、アンケートを記入してもらったり、また直接CAPメンバーに質問や相談ができる「放課後タイム」を実施。たくさんのお子たちの声が届けられます。

たくさん考えたり、こんな考え自分だけなのかな?って思うことは悪いことではないということがわかりました。悪いことじゃないとわかって、心がすごい落ち着いているのが自分でもわかります。確信はまだないけど、自分は大切な存在なんだとなんとなく思うことができました。

私は人から「なやみがなさそう」とか、「幸せそう」って言われるけど、そんなことはないし、むしろ、人よりもなやんでいる方だと思うから、今日のお話を聞いて、思春期だからなやむことはおかしくないと聞いてホッとした。これまで、自分はバカにされたりして、とっても傷ついてたけど、笑ってふざけてごまかしていたから、これからはそれは止めて、「いや」とちゃんと伝えるようにしたい。

正直、この話を聞いて、つらいことやいじめのことを思い出してしまった。でも、この話を聞いて、これから一人で抱え込まないで誰かに相談しようと思いました。

自分は一人になっても何とも思わないし、みんなに文句とか言われても、気にしていないけど、この話を聞いて、自分の裏の気持ちでは、ちょっと傷ついているのかなと思いました。相談する人たちはいるけど、まだ気持ちがすっきりしなかったりしました。友達に相談するより、この話を聞いてとてもすっきりしました。

みんなの気持ち

話してくれてありがとう



私は最近家族と話していないから、ちょっと変な気持ちだったけど今日のプログラムを受けて食事のときにでも少し話してみようと思いました。また、自分はいろんな人からさらわれていると思うことが最近よくあったけど、「あなたたちはとても大切な存在」と言われて、とても自信ができました。

★思春期の子どもたちが集う居場所や一般の保護者向けにも実施できます。お問い合わせください。

